

[様式第3号]

資料提供年月日	平成27年12月22日	
問い合わせ先	課名	下水道河川計画課
	電話	直通 803-1499 内線 4972 又は 4973
担当者	職名・氏名	下水道計画担当課長 河原
	職名・氏名	副主査 江本

広報連絡

〈市長定例記者会見資料〉

- 1 件名 「下水道BCP（業務継続計画）による地震・津波対策実地訓練」の実施について
- 2 日時 平成28年1月13日（水）
8時30分～15時30分
（取材については10：00を予定）
- 3 場所 下水道災害対策本部室（分庁舎4階下水道河川局長室）
各下水道施設、管路施設
- 4 趣旨 大規模地震・津波の発生により下水道が使用できない、あるいは雨水を排除できず街が浸水することを長期間にわたり発生させないために「だれが・いつまでに・何をする」かを明確化したBCP（業務継続計画）訓練をはじめて実施し、災害対応能力の向上を図ります。
- 5 内容 ①職員の非常参集・安否確認をクラウドシステムにより情報化
②地震による下水道施設の被害調査
③津波による下水道施設の被害調査
④下水道施設の応急復旧
- 6 備考 添付資料
・下水道BCP（業務継続計画）による地震・津波対策実地訓練

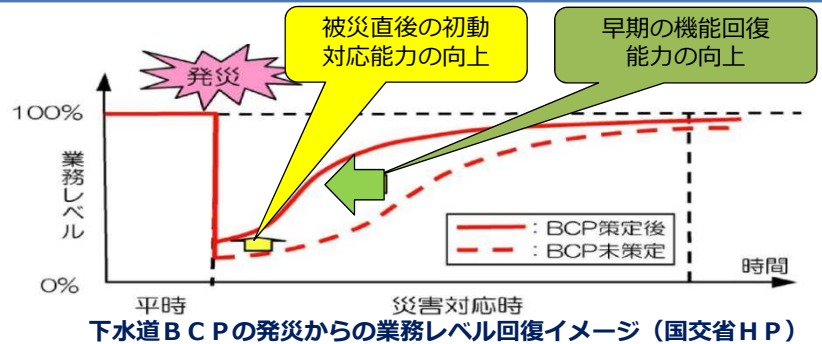
下水道BCP（業務継続計画）による地震・津波対策実地訓練 ～今年度、はじめての実施～

1 目的

大規模な地震・津波の発生により下水道施設が被災した場合、**長期間にわたり下水道が使用できない、あるいは雨水を排除できず街が浸水するなどの恐れ**があります。

下水道BCPは災害が発生しても市民・職員の安全を確保し、下水道機能を早期に回復するために「**だれが・いつまでに・何をするか**」を定めたものです。

下水道BCP訓練は、下水道BCPの想定シナリオに基づき、**非常時の業務をより具体化した実践的な図上訓練を行うこと**で、平時からの危機管理体制の強化に繋げることを目的としています。



2 想定地震・想定被害

- ・地震名 南海トラフ巨大地震
- ・震源地 和歌山県南方沖 100km M9.1
- ・市内震度 震度6強（南区、中区・東区の一部）
震度6弱（北区、中区・東区の一部）
- ・津波想定 南区、中区、東区で津波高T.P.+2.6m
(T.P.:東京湾平均海面)
- ・想定被害

処理場	被害大	2カ所
ポンプ場	被害大	5カ所
管きよ	被害延長	8km



3 訓練内容

実施予定日 平成28年1月13日（水）（取材は10:00～）

時間	7:00	7:05	7:15	8:30	10:00	10:16	11:00	15:00
気象発表		岸に津波	津波到達	災害対策本部設置	状況報告（第1報）	津波沿岸に到達	状況報告（第2報）	状況報告（第3報）
主な行動内容	非常参集			分庁舎に下水道災害対策本部設置 職員的安全・参集状況の確認 地震・津波対策実地訓練開始	各班の被災状況とりまとめ 応急復旧対応指示	津波による被災状況の確認 各班の被災状況まとめ 住民からの被災状況まとめ 管路施設の緊急点検 処理場・ポンプ場の緊急点検 区本部からの被災情報収集	各班からの津波による被災状況とりまとめ 応急復旧対応指示	訓練の問題点を抽出し、訓練終了
各班の訓練事項	緊急連絡・安否確認システムによる配信							
連絡調整班								
広報班								
管路班								
施設班								
河川班								

被災状況・復旧対応の状況がご覧になれます。